

**「スポーツをすることは将来の収入を上げる」  
～『科学的根拠(エビデンス)で子育て』中室牧子 著より～**

スポーツ庁が開催したシンポジウムにオンラインで参加したところ、講師の為末大氏より、慶応義塾大学教授 中室（なかむろ）牧子（まきこ）氏の著書「科学的根拠（エビデンス）で子育て」の一部が紹介されました。著書のごく一部を要点のみ掲載します。

**スポーツをすることは将来の収入を上げる**

「将来しっかり稼ぐ大人に育てる」方法の1つ目は、子どもたちがスポーツをするよう仕向けることです。

**【エビデンス1】**

- アメリカの高校で課外活動としてスポーツをしていた男子生徒は、スポーツをしていなかった同級生と比べて、高校を卒業して11～13年後の収入が **4.2～14.8%も高い**。
- 同じくアメリカ高校でスポーツの部活動をしていた男子生徒の卒業から16年後の収入が、部活動をしていなかった生徒より **21.4%も高い**。

どうして？・・・主に2つの理由があると考えられています。

**【理由1 採用で有利になる】**

1つ目は、企業がスポーツ経験のある人を好んで採用したいと考えるからです。

ノルウェーで行われた研究は、求人を出している企業に対して、写真や経歴などはすべて同じで、スポーツ経験の有無だけが違う架空の履歴書をランダムに送り、面接に呼ばれる確率にどのくらい差が出るかを調べました。その結果、スポーツ経験があると書かれた履歴書を送ると、面接に呼ばれる確率が約2ポイントも高くなることが示されました。

**【理由2 忍耐力やリーダーシップが身に付く】**

2つ目は、スポーツ経験によって、忍耐力、リーダーシップ、責任感、社会性などが身に付くと考えられるからです。前出のノルウェーの研究では、きょうだいのうち、スポーツをしていたほうの年収が、スポーツをしていなかったほうよりも約4%高いことがわかりました。

このように、スポーツ経験があることによる賃金の上乗せ分を、スポーツの「賃金プレミアム」と言います。そして、この賃金プレミアムのほとんどが、きょうだいのうちスポーツをしていたほうの忍耐力、リーダーシップ、責任感、社会性などの「非認知能力」が高いことによるものだと言われているのです。

興味深い内容満載です。子育て中の皆様、ご参考にされてみてはいかがでしょうか。

**教室募集状況  
(2月時点)**

募集中：ダンス／サッカー／フィットネス／親子テニス  
中学生地域スポーツ活動も募集中です。  
募集停止：親子バドミントン

**特定非営利活動法人総合型SC長与スポーツクラブ**

長与小学校体育館内 HPアドレス <http://www.nagayosc.sakura.ne.jp/NSC>  
TEL/FAX 095-865-9511 メールアドレス [nsc@jewel.ocn.ne.jp](mailto:nsc@jewel.ocn.ne.jp)

事務所窓口開設時間

月・水・金  
14:30～16:30



スポーツ庁



HP



LINE を利用したクラブからの諸連絡用。  
友だち追加をお願いします。  
HP からもできます。